 <p>Zambia</p>	学校名：筑波大学附属中学校	● 実践教科等：英語
	氏名： 中島真紀子	● 時間数： 6時間 ● 対象生徒： 中学2年生 ● 対象人数： 40人
[担当教科： 英語]		

1 単元名 *NEW CROWN 2 ENGLISH SERIES New Edition*

Lesson 6: My Dream

2 単元の目標

・自分本位な思いだけで将来の夢を語るのではなく、他者との関わりや奉仕の心を持ち、将来他の人のためにできること、やりたいことは何なのか、を考えることができる。

【他者と協力する態度】【つながりを尊重する態度】【進んで参加する態度】

・教師やクラスメイトとのやりとりの中から新出の言語材料を学ぶことで、英語という言語を実際のコミュニケーションのツールとして使える、使おうとする態度を養う。

【コミュニケーションを行う力】

3 単元の指導について

(1)教材観

この単元の題材は、多くの生徒が中学2年生の時に経験する「職場体験」がテーマとなっており、登場人物のケンが、エンジニアになりたいという夢を意見文の形で語っている。エンジニアになりたいというケンが、職場体験に選んだ場所は高齢者福祉施設であり、一見エンジニアという職業には関係無いと思われる。しかし、ケンが、最近では多くのロボットが介護に使われており、人助けをするロボットを作りたいという夢を語るのである。この教科書の題材の背景には、日本が抱える「少子高齢化社会」の問題があると思われ、日本という国がもつ問題点を考え、将来の自分には何ができるのだろうか、というところまで深く考えさせられる意義深い題材である。また、新出文法事項として、不定詞(名詞的用法、副詞的用法、形容詞的用法)を学ぶ。不定詞の3用法を学ぶことで、表現の幅が広がり、生徒たちが自分の言いたいことをより明確に伝えることができるようになるであろう。

(2)生徒観

本校の特性として、海外からの来客が多く、また2年生、3年生を対象としたアメリカへの短期留学プログラム、3年生を対象としたシンガポールへの短期留学プログラムが毎年実施されている。このような機会に恵まれていることから、校内での国際交流の活動は盛んに行われており、また興味関心の高い生徒も多い。しかし、国際理解教育を柱の一つとして行っている授業は多いとは言えず、「国際交流」の段階で留まっている。また、将来は高校に行き、大学に行き、社会的に知られた職業に就く、という道しかないと思っている生徒がほとんどである。

授業クラスの全体の雰囲気としては、英語に興味を持っていることはうかがえ、一生懸命にコミュニケーションをとろうとする姿が多く見られる。また、英語での発表活動を上手に行うことのできる生徒も多い。ただ、時期や時間帯、さらには席替えをすることによってクラスの雰囲気が大きく異なることもあるので、よい雰囲気を最大限に引き出せるようにしたい。特に大きな声を出して発言がなかなかできない女子にも積極的な発言を促し、声を出せるように工夫したい。

(3)指導観

・生徒が興味を持ちやすい実際のトピックを用い、新出文法(不定詞の副詞的用法)を導入する。その際、できる限り英語を実際の言語として用い、不自然ではない形でやりとりができるようにすることを目指す。また、教科書の本文の意味を字面で追うのではなく、日本が直面している問題にも焦点を当てながら、生徒に深く考えさせる工夫をする。

・世界にはさまざまな立場、環境に置かれている人々がいて、いくつもの将来の道が存在することを知

らせたい。

4 評価規準

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての知識・理解
評価規準	・様々な立場の人の将来の夢ややりたいことを知り、自分の将来の夢ややりたいこと、人のために自分は何ができるのかを積極的に考えている。	・不定詞(名詞的用法・副詞的用法・形容詞的用法)を使い、自らの言いたいことを表現している。	・将来の夢についての意見文を読み、正しく理解している。	・不定詞(名詞的用法・副詞的用法・形容詞的用法)を理解し、使っている。
評価方法	・ペアワークの会話の様子 ・ワークシートへの記述	・授業の発言 ・ワークシートへの記述	・授業中のやりとり ・ワークシートへの記述	・授業中のやりとり ・定期考査

5 単元の構成

時限	小単元名	学習のねらい	授業内容
1	Lesson6 Get Part1	・不定詞(名詞的用法)を理解し、使うことができる。 ・Get Part1 の内容を深く理解し、正しく読むことができる。	・不定詞(名詞的用法)を理解し、実際の場面を想定して使用してみる。 ・教科書の登場人物(Ken)の将来の夢を理解し、自分だったら何をしたいか考える。
2	Lesson6 Get Part2	・不定詞(副詞的用法)を理解し、使うことができる。 ・Get Part2 の内容理解を深く理解し、正しく読むことができる。	・不定詞(副詞的用法)を理解し、実際の場面を想定して使用してみる。 ・ザンビアに暮らす中学生や日本人女性について知ったり、日本が抱える問題について気づいたりすることで自らのことを振り返り、改めて自分ができること、やりたいことを英語で考える。
3	Lesson6 Get Part1&2	・不定詞(形容詞的用法)を理解し、使うことができる。	・不定詞(名詞的用法・副詞的用法・形容詞的用法)のドリル練習を行う。 ・不定詞を使った表現活動を行う。
4	Lesson6 USE Read	USE Read の内容を正確に理解できる。	前時までの学びを生かし、Kenの将来の夢についての意見文を正確に読み取る。
5	Lesson6 USE Read	・USE Read の内容理解を正確に理解した上で読むことができる。 ・スピーチの構成や用いている表現等を理解し、使えるようにする。	・前時において正確に読み取れていたかをチェックした上で、読む練習を行う。 ・スピーチの構成や用いている表現を実際に使用する。
6	Lesson6 まとめ	文法のまとめ	・不定詞(名詞的用法・副詞的用法・形容詞的用法)が使用されている文章を正確に読み取る。 ・不定詞を使った表現活動を行う。

6 授業事例の紹介

小単元名【 Lesson 6: My Dream Get Part2 】

(1) 指導案

(ア)実施日時 11月10日(土)第4限

(イ)実施会場 育鳳館

(ウ)本時の目標

- ・実際のコミュニケーションの場を設定しながら、英語で新出文法を理解、練習させる。
- ・教師との英語でのインタラクションを通し、自然に教科書の内容を理解させる。
- ・本時で学んだ文法事項と既習事項を総動員させ、本時で理解した教科書内容を踏まえて自分の考えを英語で書かせる。

(エ)指導のポイント

- ・英語の授業時間内に、英語をできる限り「実際の言語として使用させる」ことと、教科書をオーソドックスに活用しながらも「授業を実際の英語でのコミュニケーションの場面とする」ということを常に意識する。
- ・新出文法の導入で、ザンビアでの中学生の将来の夢インタビュー写真やザンビアでストリートチルドレンの保護活動を行う日本人女性へのインタビュー写真を使用し、興味を喚起する。
- ・教科書本文の理解において、ただ日本語に訳すのではなく、その裏に隠された日本の問題点や登場人物の思いまで読み取らせ、自分に置き換えて考えさせられるようにする。

(オ)本時の展開

過程・時間	指導内容	学習活動	指導形態	指導上の留意点	評価 (評価規準・評価方法)
1分		挨拶と出欠確認			
復習 9分	復習 (教科書内容・新出語彙・文法)	前時を振り返りながら将来の夢ややりたいことをペアで話す。 教科書内容に関する質問に英語で答える。 前時における新出単語、本文の意味を確認した上で音読練習を行う。	ペア 一斉 個人		教科書内容を理解しているか。(Q&A)
文法 導入 10分	新出文法のオーラルイントロダクション (スクリプト①参照)	学年教師の中学生時代の将来の夢を聞きながら、授業者の経験へつながる話を聞く。 ザンビアの中学生の将来の夢、ストリートチルドレンを保護する日本人女性の活動に関するオーラルイントロダクションを通し、不定詞の副詞的用法に気づく。	一斉 個人	前時の復習から本時の学習まで、ストーリーを追っていけるよう工夫する。 生徒が理解できる範囲の英語を用いる。 実際の経験や実在する人物について語ることで興味喚起を図る。	不定詞(副詞的用法)を理解しているか。(観察)
	新出文法の定着	副詞的用法に関して、日本語での説明を行い、きちんと理解した上でドリル練習を行う。	一斉 個人	日本語に切り替え、短く完結に説明する。 定着を図るため、トリル練習を行う。	不定詞(副詞的用法)を理解しているか。(観察)

JICA 教師海外研修 授業実践報告書フォーマット

教科書 導入 ↓	教科書内容のオーラルイントロダクション	授業者との英語でのやりとりを通して、教科書内容を大まかに理解する。	一斉個人	生徒が理解できる範囲の英語を用いながらも、新出文法、新出語彙を積極的に入れていく。	教科書の内容を理解しているか。(観察)
理解 音読 15分	内容理解音読	日本語で要点を説明し、進出語彙の確認、本文の音読練習を行う。	一斉個人	常に相手意識をもって本文を読むよう促す。	
5分	登場人物の振り返り(スクリプト②参照)	教科書内容に隠された思いを読み取り日本の問題点に気づく。また、本日登場したザンビアの人のそれぞれの思いに気付く。	一斉	生徒とのやりとりを通して、生徒自身に気付かせる。	
10分	ライティングによる自己表現	将来周りの人のためにやりたいことを考え、自分の思いをワークシートに英語で書く。	個人	自分の思いをより表現しやすくするため、ライティング活動とする。	

スクリプト①

T:教師の発言 SA: 生徒全体の発言 SI:生徒個人の発言
<p>Oral Introduction</p> <p>T: What did I want to do in the future when I was a junior high school student?</p> <p>I wanted to go to many countries to see new things. I wanted to go to Africa someday and my dream came true! I visited Africa this summer. I told you that I visited there, didn't I?</p> <p>Which country in Africa did I go to? Do you remember?</p> <p><i>(Show them a map of Africa)</i></p> <p>I visited Zambia in Africa and I met many people there.</p> <p>For example, I met this boy.... his name is プリンズ. He likes to sing.</p> <p>I asked him, "What is your dream? What do you want to be in the future?"</p> <p>He said "I want to be a musician."</p> <p>I asked him "Why?" He said, "To teach music to young children."</p> <p>So, he wants to be a musician to teach music to children. (to teach children music)</p> <p><i>Let them repeat after the teacher.(SA)</i></p> <p>How about this boy?</p> <p>His name is ウィルフリー. He likes to read books.</p> <p>He wants to be a truck driver. Why? To help his brother. His brother is a truck driver. So he wants to be a truck driver to help his brother.</p> <p><i>Let them repeat after the teacher.(SA)</i></p> <p>How about this girl?</p> <p>Her name is ブリッシン. She also likes to read very much.</p> <p>She wants to be a nurse. Why? To help sick people.</p> <p>She wants to be a nurse to help sick people. She is studying hard to be a nurse.</p> <p><i>Let them repeat after the teacher.(SA)</i></p> <p>I also met this lady. She is Japanese. Her name is Ouko.</p> <p>She lives in Zambia now. Why did she go to Zambia? To help kids on the streets.</p> <p>She went to Zambia to help kids on the streets. Now she is working hard. Why? to build them houses. She is working hard to build them houses.</p> <p><i>Let them repeat after the teacher.(SA)</i></p>

スクリプト②

T:教師の発言 SA: 生徒全体の発言 SI:生徒個人の発言

Think deeply

T: Let's look at the people we talked about today.

I told you about people in Zambia, and Ken.

I think that everyone wants to do something for others.

ザンビアにはザンビアの問題があり，日本には日本の問題がある。その問題を解決するために「誰かを手伝いたいな，何か自分にできないかな」って考えている。

(As pointing pictures)

He wants to do something for his brother.

She wants to do something for the sick people.

She wants to do something for the children on the streets.

Ken wants to do something for the old people and staff in nursing homes.

How about you? What can you do for others? What do you want to do? What do you want to be? Please think about it one more time and please write it down this time.

We talked about it at the beginning of the class, but you can change your idea.

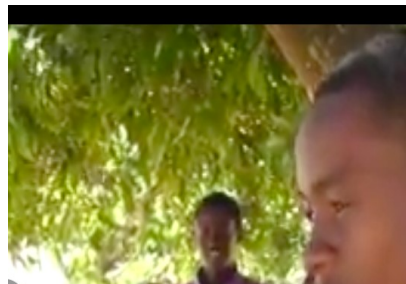
(2) 授業の振り返り

授業全体に様々な仕掛けをすることにより，英語を言語として学ぶだけでなく，生徒が自分自身を振り返り，将来のことを考えるきっかけとなる授業となった。新出文法事項を学ぶ段階でザンビアでの自分の体験を入れたことにより，生徒の興味関心を引くことができたし，そこに至るまでの段階でも，生徒たちの身近な先生の話から引っ張ってくることができた。本時で扱った教科書の本文も，短く単純なものであるのだが，深く読み取ると見えてくる日本という国が抱える問題がある。その問題にそれぞれの生徒が気づいていただろうと思われるが，生徒自身の積極的な発言として出させることは非常に難しく，一方的に伝えることになってしまった。

(3) 使用教材

ザンビアで撮影した写真

インタビューをしたザンビアの中学生とストリートチルドレン保護活動を行う女性 (スクリプト①で使用)



ザンビアが抱える問題の例 (スクリプト②で使用)



4) 参考資料等

三省堂. (2016). 『NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition2 Teacher's Manual ①解説編』

7 単元をとおした児童生徒の反応/変容

口頭で将来の夢や、やりたいことを話していた時には、なかなか自分の気持ちを素直に言えなかったり、深く考えずに発している発言が多かったりした。しかし、ザンビアの中学生やストリートチルドレンを保護する活動をしている日本人女性の存在を知り、さらに教科書内容を深く読み取らせることで「自分が本当にやりたいことは何なのか」「自分が人のためにできることは何なのか」を多少なりとも考えるきっかけとなり、書いて表現させたものの中には内容の濃いものがたくさんあった。自分の身近な家族に何をしたいか、を考えた生徒もおり、素直な気持ちを引き出すことができた。また、新しい文法を導入する際には、架空の人物や文をむりやり設定し行うことが多いが、実在する人物や実話をもとにすることで、生徒の興味喚起ができた。

生徒のライティング作品

In the future, I want to go to Europe with my mother. I want to take my mother to her favorite place in Europe because I appreciate her help. When we go there, I want to eat delicious food, go to famous places and go shopping. In particular, I want to go to Sagrada Familia in Spain.
(女子生徒)

In the future, I want to study English harder. I want to study English to do something around the world. I have never left Japan, so I know few things about other countries. I think to go abroad and know more about other countries changes my life better. I am going to America next March. I'm looking forward to it!
(男子生徒)

In the future, I want to go to South Sudan because my teacher lives there. She is a sister, and she told me about the war in South Sudan. There are many poor children. I want to help them.
(女子生徒)

8 授業実践全体の成果と課題及び課題の改善策

本授業では、教師海外研修で学んだことを新文法の導入、そして「将来の夢」という教科書内容とも絡めて実践することができた。これは、海外派遣前の10月後半から11月頃には、中学2年生で「My Dream」という題材を扱うことがすでにわかっていたので、ザンビアで学校を訪問させていただく際や、ザンビアで活躍している日本人にお会いした際には、将来の夢やこれからやりたいこと、または中学生時代の夢を聞くという計画を立てていた。だからこそ現地での様々なインタビューの場面で、意図した質問をすることができ、それらのインタビューの中から生徒の英語能力や題材に即した人物を選び、内容に入れ込むことができた。さらに、本授業だけでなく、他の活動や場面でも、私自身がザンビアで学んだことを取り入れることができていた。(例: Small Talk や Picture Description, 受け身形の文法導入等)

日々の教科書の授業でどのように取り入れていくのか、を中心に考えてきたが、中学校英語での限られた語彙、文法事項、そして教科の内容の範囲内で行わなければならない中、国際理解教育の要素を取り入れていくことは、最初は難しく感じた。しかし、大きく取り上げるのではなく、日々の授業に少しずつ入れ込んでいく、と決めたことでハードルが低くなったように思う。しかし日々の英語の授業に少しのスパイスとして入れていくことは、外国語を学ぶ授業として必要なことであるし、そうすることで英語を通して生徒がより広い視野をもって考えていくきっかけになるのではないかと思う。また、教科書のような架空の題材のみを扱うのではなく、“実際の出来事を用いた英語学習教材”として扱うことで、生徒の興味もより引くことができ、結果的に英語への興味関心、英語習得への近道になるのではないかと考える。

9 教師海外研修に参加して

教師海外研修に参加させていただき、たくさんのものを見て、感じた10日間だった。さらに、事前の研修から実践授業、そしてこれまでの日々、授業にどのように取り入れたら効果的なのかをずっと考え、実践を行ってきた。それによって、教師としての視野を大きく広げることができたのと同時に、目の前の生徒にとってより説得力のある内容の授業展開を自然と考えるようになり、自分の授業を見直す、大切な機会ともなった。英語教師として、授業の中にもっと国際理解的な要素を取り入れていき、生徒にとって言語習得だけではなく、自ら考える力をつける授業となるよう、これからも実践していきたい。